

様式 2 - 1

品質証明チェックシート（実施状況）

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通】

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
共通	指定材料の使用が確認できる	施工時	計図書において、監督職員に品質規格証明書を提出すべきものとされた材料について、証明書等が提出され、同じ材料が使われていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【コンクリート構造物工事】

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容								備考				
コンクリート 打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間が、外気温が25℃を超える場合で1.5時間以内、25℃以下の場合で2時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所												
				コメント												
		施工時	コンクリートの打込みを日平均気温が4℃を超え25℃以下の範囲に予想されるときに実施していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		日中平均気温が4度以下の時は寒中コンクリートとして、25度を超えるときは暑中コンクリートとして取り扱う。
				確認箇所												
				コメント												
		施工時	コンクリートの打設作業に際しては、あらかじめ打設計画書を作成し、適切な高さに設定してこれに基づき打設作業を行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所												
				コメント												
		施工時	シュート、ポンプ配管、バケツ、ホッパー等の吐出口と打込み面までの高さは1.5m以下となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所												
				コメント												

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【コンクリート構造物工事】

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容							備考				
				日付・チェック	/	□	/	□	/	□		/	□	/	□
コンクリート 打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	打設前	【暑中コンクリート】 日平均気温が25℃を超えることが予想されるときは、暑中コンクリートとしての施工を行っており、打ち込み時のコンクリート温度は35℃以下であることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	日平均気温とは、1時から24時までの毎正時24回の観測値の平均をいう。暑中コンクリートの適用に関する判断は、請負者へのヒアリングにて確認を行う。		
				確認箇所											
				コメント											
		打設前	【寒中コンクリート】 日平均気温が4℃以下になることが予想されるときは、寒中コンクリートとしての施工を行っており、打ち込み時のコンクリートの温度を、構造物の断面最小寸法、気象条件等を考慮して、5～20℃の範囲に保っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		/	□
				確認箇所											
				コメント											
施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃を超える場合は2.0時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	暑中コンクリートの場合、特にコールドジョイントが生じやすいため注意する。		
		確認箇所													
		コメント													

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【コンクリート構造物工事】

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容								備考				
				日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/		□	/	□	
コンクリート 打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃以下の場合には2.5時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	暑中コンクリートの場合、特にコールドジョイントが生じやすいため注意する。			
				確認箇所												
				コメント												
		施工時	コンクリートが鉄筋の周囲及び型枠のすみずみに行き渡るように打設し、パイプレータ間隔50cm以下、1箇所あたりの振動時間5~15秒程度で速やかにコンクリートを締め固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		/	□	これまでの施工実績に基づき、1箇所あたりの振動時間は5~15秒とする。
				確認箇所												
				コメント												
施工時	コンクリートを2層以上に分けて打設する場合、パイプレーターを下層のコンクリート中に10cm程度挿入し、上層と下層が一体となるように入念に締め固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□				
		確認箇所														
		コメント														
コンクリート 打設 (打継ぎ)	コンクリートの打設前に打ち継ぎ目の処理を適切に行っていることが確認できる。	施工時	硬化したコンクリートに、新コンクリートを打継ぐ場合は、その打込み前に型枠をしめ直し、硬化したコンクリートの表面のレイタンス、緩んだ骨材粒、品質の悪いコンクリート、雑物などを取り除き吸水させていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□				
				確認箇所												
				コメント												

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【コンクリート構造物工事】

施工フロー	チェックポイント		時期	チェック項目	チェック内容						備考			
					日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□
コンクリート 打設 (打継ぎ)	床組みと一体になった柱、壁の打継目の施工が適切であることが確認できる。		施工時	スラブと一体となるハンチは、床組みと連続してコンクリートを打設していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
					確認箇所									
					コメント									

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
-------------	--------------	--------------	----------

【共通編】土工(切土、盛土、堤防等工事)

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考			
材料確認 (盛土材料)	盛土材の管理は適切であることが確認できる。	施工時	盛土材料に石が混入する場合に、石がヶ所に集まっていないことが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
まきだし 締固め	締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	締固め作業にあたり、適切な含水比の状態で行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
	一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。	施工時	築堤・路体・路床盛土工の施工において、一層の仕上り厚を30cm以下(路床盛土の場合、20cm以下)としており、平坦に締固めており、各層で締固めを行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】土工(切土、盛土、堤防等工事)

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/	□
まきだし 締固め	構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。	施工時	構造物の隣接箇所や狭い箇所の盛土工について、タンバ・振動ロー等 <small>の</small> 小型締固め機械により締固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	樋管等の構造物がある場合には、過重な偏土圧のかからないように盛土し、締固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		/	□
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【河川編】護岸・根固・水制工事

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考				
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/
基礎工 コンクリート 打設	コンクリートの打設が適切であることが確認できる	施工時	コンクリート施工に際して、水中打ち込みを行っていないことが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
作業土工 (埋戻し)	埋め戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる	施工時	埋戻しの材料は設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
	埋め戻し方法が適切であることが確認できる	施工時	水密性を確保しなければならない箇所の埋戻しにあたり、埋戻し材に含まれる石等が一ヶ所に集中しないように施工していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
埋め戻し方法が適切であることが確認できる	施工時	埋戻しを行うにあたり埋設構造物がある場合は、備土圧が作用しないように埋戻していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
			確認箇所											
			コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【河川編】護岸・根固・水制工事

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考				
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/
鋼矢板資材 受入	搬入された鋼矢板は所要の規格を満足していることが確認できる	施工前	鋼矢板の品質が設計図書の様を満足していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
材料受入	指定材料の品質が証明書類で確認できる	施工前	設計図書において、監督職員に品質規格証明書を提出すべきものとされた材料について、証明書等が提出され、同じ材料が使われていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
石・コンクリート ブロック積張 工	裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる	施工前	裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日～ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
-------------	--------------	--------------	----------

【河川編】護岸・根固・水制工事

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
覆土工	施工が適切であることが確認できる	施工前	覆土に用いる材料の品質が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	厚さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		/	□
				確認箇所											
				コメント											
植生工	植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる	施工時	芝付け及び種子吹付を設計図書で定められた条件で行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	材料の種類、品質、配合等について確認		
				確認箇所											
				コメント											
コンクリート打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間が、外気温が25℃を超える場合で1.5時間以内、25℃以下の場合で2時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日～ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【河川編】護岸・根固・水制工事

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□		
コンクリート 打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	コンクリートの打込みを日平均気温が4℃を超え25℃以下の範囲に予想されるときに実施していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	日中平均気温が4度以下の時は寒中コンクリートとして、25度を超えるときは暑中コンクリートとして取り扱う。		
			確認箇所												
			コメント												
		施工時	コンクリートの打設作業に際しては、あらかじめ打設計画書を作成し、適切な高さに設定してこれに基づき打設作業を行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
			確認箇所												
			コメント												
		施工時	シュート、ポンプ配管、バケツ、ホッパー等の吐出口と打込み面までの高さは1.5m以下となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
		打設前	【暑中コンクリート】 日平均気温が25℃を超えることが予想されるときは、暑中コンクリートとしての施工を行っており、打ち込み時のコンクリート温度は35℃以下であることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	日平均気温とは、1時から24時までの毎正時24回の観測値の平均をいう。暑中コンクリートの適用に関する判断は請負者へのヒアリングにて確認を行う。
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【河川編】護岸・根固・水制工事

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□		
コンクリート 打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	打設前	【寒中コンクリート】 日平均気温が4℃以下になることが予想されるときは、寒中コンクリートとしての施工を行っており、打込み時のコンクリートの温度を、構造物の断面最小寸法、気象条件等を考慮して、5~20℃の範囲に保っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃を超える場合は2.0時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	暑中コンクリートの場合、特にコールドジョイントが生じやすいため注意する。
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃以下の場合2.5時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	暑中コンクリートの場合、特にコールドジョイントが生じやすいため注意する。
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	コンクリートが鉄筋の周囲及び型枠のすみずみに行き渡るように打設し、バイブレータ間隔50cm以下、1箇所あたりの振動時間5~15秒程度で速やかにコンクリートを締め固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	これまでの施工実績に基づき、1箇所あたりの振動時間は5~15秒とする。
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【河川編】護岸・根固・水制工事

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考				
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> コンクリート 打設 </div>	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	コンクリートを2層以上に分けて打設する場合、バイブレーターを下層のコンクリート中に10cm程度挿入し、上層と下層が一体となるように入念に締め固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【道路編】鋼橋上部工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容							備考				
				日付・チェック	/	□	/	□	/	□		/	□	/	□
現場塗装工	現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。	施工時	被塗装面の素地調整状態を確認したうえで下塗りを施工していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	天災その他の理由によりやむを得ず下塗りが遅れ、そのためさびが生じたときは再び素地調整を行い、塗装していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	塗料の塗り重ねにあたって、先に塗布した塗料が乾燥(硬化)状態になっていることを確認したうえで行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【道路編】鋼橋上部工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
現場塗装工	現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。	施工時	現場塗装終了後、塗膜厚検査を行い、塗膜厚測定記録を作成及び保管していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
		確認箇所													
		コメント													
	完成時		日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		
	確認箇所														
	コメント														

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【道路編】鋼橋上部工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容	備考																																										
現場塗装工				<p>表 2-9 塗装禁止条件</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温 (℃)</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジシクリッチプライマー</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジシクリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 ※ 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用 ※</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>超薄膜型エポキシ樹脂塗料</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低温用)</td> <td>5以下、20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 ※</td> <td>10以下、30以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (低温用)</td> <td>5以下、20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟型エポキシ樹脂塗料中塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟型ふっ素樹脂塗料上塗</td> <td>0以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性アタム酸樹脂塗料中塗 長油性アタム酸樹脂塗料上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">注) ※印を付した塗料を低温時に塗布する場合は、低温用の塗料を用いなければならない。</p>	塗装の種類	気温 (℃)	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジシクリッチプライマー	0以下	50以下	有機ジシクリッチペイント	10以下	85以上	エポキシ樹脂塗料下塗 ※ 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用 ※	10以下	85以上	亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上	超薄膜型エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上	エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低温用)	5以下、20以上	85以上	無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 ※	10以下、30以上	85以上	無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (低温用)	5以下、20以上	85以上	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上	ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟型エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上	ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟型ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性アタム酸樹脂塗料中塗 長油性アタム酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上	
				塗装の種類	気温 (℃)	湿度 (RH%)																																									
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																													
無機ジシクリッチプライマー	0以下	50以下																																													
有機ジシクリッチペイント	10以下	85以上																																													
エポキシ樹脂塗料下塗 ※ 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用 ※	10以下	85以上																																													
亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上																																													
超薄膜型エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上																																													
エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低温用)	5以下、20以上	85以上																																													
無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 ※	10以下、30以上	85以上																																													
無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (低温用)	5以下、20以上	85以上																																													
コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上																																													
ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟型エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上																																													
ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟型ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上																																													
鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性アタム酸樹脂塗料中塗 長油性アタム酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上																																													
床版工	コンクリートの打継目の設定は適切であることが確認できる。	施工時	橋軸方向に平行な打継目は作っていないことが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□																																	
				確認箇所																																											
				コメント																																											
		施工時	橋軸直角方向は、一直線状になるよう打込んでいることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		/	□																														
確認箇所																																															
				コメント																																											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【砂防編】砂防堰堤工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/	□
堰堤工	コンクリートの打ち継ぎが適切であることが確認できる	施工時	旧コンクリートの材令が所要日数に達した後に新コンクリートを打ち継いでいることが確認できる。あるいは、施工前に設計図書に関して監督職員の承諾を得ていることが確認できる。	確認箇所											
			コメント												
			0.75m以上1.0m未満リフトの場合:3日(中2日) 1.0m以上1.5m未満リフトの場合:4日(中3日) 1.5m以上2.0m以下リフトの場合:5日(中4日)												
堰堤工	コンクリートの打込み、養生方法が適切であることが確認できる	施工時	次の事項に該当する場合はコンクリートの打込みと養生方法及び期間について、施工前に設計図書に関して監督職員の承諾を得ていることが確認できる。	確認箇所											
			コメント												
			(1)コンクリート打設現場の日平均気温が4℃以下になるおそれのある場合。 (2)打込むコンクリートの温度が25℃以上になるおそれのある場合。 (3)降雨・降雪の場合。 (4)強風その他、コンクリート打込みが不適当な状況になった場合。												
堰堤工	コンクリート打設面の基礎岩盤面の状況が適切であることが確認できる	施工時	コンクリート打込み前にあらかじめ基礎岩盤面の浮石、堆積物、油及び岩片等を除去したうえで、圧力水等により清掃し、溜水、砂等を除去している。	確認箇所											
			コメント												
			日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【砂防編】砂防堰堤工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考				
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/
堰堤工	コンクリート打設面の基礎岩盤面の状況が適切であることが確認できる	施工時	コンクリートを打込む基礎岩盤及び水平打継目のコンクリートについては、あらかじめ吸水させ、湿潤状態にしたうえで、モルタルを塗り込むように敷均していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
	コンクリート打込み用バケットを、その下端が打込み面上1m以下に達するまで降ろし、打込み箇所のできるだけ近くにコンクリートを排出していることが確認できる。	施工時	コンクリートを打込み箇所に運搬後、ただちに振動機で締固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
	コンクリート打設方法が適切であることが確認できる	施工時	1リフトを数層に分けて打込むときには、締固めた後の1層の厚さが、40~50cmになるように打込んでいることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【砂防編】砂防堰堤工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/	□
堰堤工	コンクリート打設方法が適切であることが確認できる	施工時	1リフトの高さは0.75m以上2.0m以下とし、同一区画内は連続して打込んでいることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
現場塗装工	現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる	施工時	被塗装面の素地調整状態を確認したうえで下塗りを施工していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	天災その他の理由によりやむを得ず下塗りが遅れ、そのためさびが生じたときは再び素地調整を行い、塗装していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
	施工時	塗料の塗り重ねにあたって、先に塗布した塗料が乾燥(硬化)状態になっていることを確認したうえで行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		
			確認箇所												
			コメント												

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【砂防編】砂防堰堤工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考																																																				
現場塗装工	現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる	施工時	現場塗装終了後、塗膜厚検査を行い、塗膜厚測定記録を作成及び保管していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□																																																		
				確認箇所																																																										
				コメント																																																										
	現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる	施工時	塗布作業時の気温・湿度の制限が共通仕様書表2-9に示す場合は、塗装を行っていないことが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□																																																		
				確認箇所																																																										
				コメント																																																										
<p>表 2-9 塗装禁止条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温 (°C)</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジンクリッチプライマー</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>無機ジンクリッチペイント</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 ※</td> <td rowspan="3">10以下</td> <td rowspan="3">85以上</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料下塗</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料内面用 ※</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗</td> <td rowspan="2">5以下</td> <td rowspan="2">85以上</td> </tr> <tr> <td>弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗</td> </tr> <tr> <td>超薄膜形エポキシ樹脂塗料</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用)</td> <td rowspan="3">5以下、20以上</td> <td rowspan="3">85以上</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用)</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低温用)</td> </tr> <tr> <td>無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 ※</td> <td>10以下、30以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (低温用)</td> <td>5以下、20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料用中塗</td> <td rowspan="4">5以下</td> <td rowspan="4">85以上</td> </tr> <tr> <td>弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料上塗</td> <td rowspan="4">0以下</td> <td rowspan="4">85以上</td> </tr> <tr> <td>弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント</td> <td rowspan="3">5以下</td> <td rowspan="3">85以上</td> </tr> <tr> <td>長油性フタル酸樹脂塗料中塗</td> </tr> <tr> <td>長油性フタル酸樹脂塗料上塗</td> </tr> </tbody> </table>				塗装の種類	気温 (°C)	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジンクリッチプライマー	0以下	50以下	無機ジンクリッチペイント			有機ジンクリッチペイント	10以下	85以上	エポキシ樹脂塗料下塗 ※	10以下	85以上	変性エポキシ樹脂塗料下塗	変性エポキシ樹脂塗料内面用 ※	亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	超薄膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上	エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用)	5以下、20以上	85以上	変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用)	変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低温用)	無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 ※	10以下、30以上	85以上	無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (低温用)	5以下、20以上	85以上	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上	ふっ素樹脂塗料用中塗	5以下	85以上	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗	コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗	コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	
塗装の種類	気温 (°C)	湿度 (RH%)																																																												
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																																												
無機ジンクリッチプライマー	0以下	50以下																																																												
無機ジンクリッチペイント																																																														
有機ジンクリッチペイント	10以下	85以上																																																												
エポキシ樹脂塗料下塗 ※	10以下	85以上																																																												
変性エポキシ樹脂塗料下塗																																																														
変性エポキシ樹脂塗料内面用 ※																																																														
亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上																																																												
弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗																																																														
超薄膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上																																																												
エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用)	5以下、20以上	85以上																																																												
変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用)																																																														
変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低温用)																																																														
無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 ※	10以下、30以上	85以上																																																												
無溶剤変性エポキシ樹脂塗料 (低温用)	5以下、20以上	85以上																																																												
コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上																																																												
ふっ素樹脂塗料用中塗	5以下	85以上																																																												
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗																																																														
コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗																																																														
コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗																																																														
ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上																																																												
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗																																																														
コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗																																																														
コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗																																																														
鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上																																																												
長油性フタル酸樹脂塗料中塗																																																														
長油性フタル酸樹脂塗料上塗																																																														

注) ※印を付した塗料を低温時に塗布する場合は、低温用の塗料を用いなければならない。

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【砂防編】砂防堰堤工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容							備考						
コンクリート 打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる	施工時	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間が、外気温が25℃を超える場合で1.5時間以内、25℃以下の場合で2時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□			
			確認箇所														
			コメント														
		施工時	コンクリートの打込みを日平均気温が4℃を超え25℃以下の範囲に予想されるときに実施していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	日平均気温が4度以下の時は寒中コンクリートとして、25度を超えるときは暑中コンクリートとして取り扱う。
			確認箇所														
			コメント														
		施工時	コンクリートの打設作業に際しては、あらかじめ打設計画書を作成し、適切な高さに設定してこれに基づき打設作業を行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
			確認箇所														
			コメント														
		施工時	シュート、ポンプ配管、バケット、ホッパー等の吐出口と打込み面までの高さは1.5m以下となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
			確認箇所														
			コメント														
打設前	【暑中コンクリート】 日平均気温が25℃を超えることが予想されるときは、暑中コンクリートとしての施工を行っており、打ち込み時のコンクリート温度は35℃以下であることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	日平均気温とは、1時から24時までの毎正時24回の観測値の平均をいう。暑中コンクリートの適用に関する判断は請負者へのヒアリングにて確認を行う。		
	確認箇所																
	コメント																

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【砂防編】砂防堰堤工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容							備考					
コンクリート 打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる	打設前	【寒中コンクリート】 日平均気温が4℃以下になることが予想されるときは、寒中コンクリートとしての施工を行っており、打込み時のコンクリートの温度を、構造物の断面最小寸法、気象条件等を考慮して、5~20℃の範囲に保っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所												
				コメント												
		施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃を超える場合は2.0時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		暑中コンクリートの場合、特にコールドジョイントが生じやすいため注意する。
				確認箇所												
				コメント												
施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃以下の場合は2.5時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	暑中コンクリートの場合、特にコールドジョイントが生じやすいため注意する。			
		確認箇所														
		コメント														

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:

対象箇所:

品質証明者

印

【砂防編】砂防堰堤工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考			
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□
コンクリート 打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる	施工時	コンクリートが鉄筋の周囲及び型枠のすみずみに行き渡るように打設し、バイブレータ間隔50cm以下、1箇所あたりの振動時間5~15秒程度で速やかにコンクリートを締め固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	これまでの施工実績に基づき、1箇所あたりの振動時間は5~15秒とする。
			確認箇所										
			コメント										
コンクリート 打設 (打継ぎ)	コンクリートの打設前に打ち継ぎ目の処理を適切に行っていることが確認できる。	施工時	コンクリートを2層以上に分けて打設する場合、バイブレータを下層のコンクリート中に10cm程度挿入し、上層と下層が一体となるように入念に締め固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
			確認箇所										
			コメント										
コンクリート 打設 (打継ぎ)	コンクリートの打設前に打ち継ぎ目の処理を適切に行っていることが確認できる。	施工時	硬化したコンクリートに、新コンクリートを打継ぐ場合は、その打込み前に型枠をしめ直し、硬化したコンクリートの表面のレイタンス、緩んだ骨材粒、品質の悪いコンクリート、雑物などを取り除き吸水させていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
			確認箇所										
			コメント										

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【砂防編】斜面对策工(地すべり対策工事)

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考				
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/
抑止杭工	既製杭の施工が適切であることが確認できる	施工時	既製杭工の杭頭処理に際して、杭本体を損傷させないように行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
	深礎工の施工が適切であることが確認できる	施工時	コンクリート打設にあたっては、打込み量および打込み高を常に計測していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
	施工時	土留め材と地山との間に生じた空隙部には、全長にわたって裏込注入を行っていることが確認できる。なお、裏込注入材料が設計図書に示されていない場合には監督職員の承諾を得ていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
			確認箇所											
			コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日～ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】法面工－(種子吹付工－客土吹付工－植生基材吹付工)

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考							
植生基材吹付	施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	施工時期が設計図書に示された施工時期となっていることが確認できる。(施工時期が示されていない場合には、乾燥期を避けて施工されているか。やむを得ず乾燥期に施工する場合は、施工後も継続した散水養生を行っている。)	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所													
				コメント													

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】法面エー(コンクリート吹付エーモルタル吹付工)

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考			
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□
準備工	使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	施工前	コンクリート及びモルタルの配合が、設計図書に示された配合となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】法面工（現場打法砕工(プレキャスト法砕工含む)）

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考				
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/
準備工	使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	施工前	コンクリート及びモルタルの配合が、設計図書に示された配合となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日～ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】基礎工－既製杭工－(既製コンクリート杭・鋼管杭・H鋼杭)

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考			
杭受け入れ	搬入された杭は所要の規格を満足していることが確認できる。	施工前	搬入された杭について、品質証明書等で規格を満足していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
	杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。	施工前	杭の運搬、保管にあたっては、杭の表面、フランジ縁端部、継手、開先部分などに損傷を与えず、また、杭の断面特性を考慮して大きなたわみ、変形を生じないようにしていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
鋼管杭打込工	試験杭施工を実施していることが確認できる。	施工時	設計図書に示す工事目的物の基礎杭の一部として使用できるように最初の一本を試験杭として施工していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
	支持地盤まで達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。	施工時	杭先端が設計図書に示された支持層に達したことが確認ができる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日～ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】基礎工－既製杭工－(既製コンクリート杭・鋼管杭・H鋼杭)

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考			
杭先端処理	セメントミルク噴出攪拌方式	施工時	セメントミルクの配合は設計図書を満足していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
	強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。	施工時	セメントミルクの品質管理を実施しており、規格を満足していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
杭頭処理		施工時	杭頭処理に際して、杭の本体を損傷させないように施工していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】基礎工—場所打ち杭工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容							備考				
掘削工	試験杭施工を実施していることが確認できる。	施工時	設計図書に示す工事目的物の基礎杭の一部として使用できるように最初の一本を試験杭として施工していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
	支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。	施工時	場所打ち杭の施工にあたり、設計図書に示した支持地盤に達したことを、掘削深さ、掘削土砂、地質柱状図及びサンプルなどにより確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
コンクリート打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間が、外気温が25℃を超える場合で1.5時間以内、25℃以下の場合で2時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
	コンクリートの打込みを日平均気温が4℃を超え25℃以下の範囲に予想されるときに実施していることが確認できる。	施工時		日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】基礎工—場所打ち杭工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考						
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□			
コンクリート打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	打設前	【暑中コンクリート】 日平均気温が25℃を超えることが予想されるときは、暑中コンクリートとしての施工を行っており、打ち込み時のコンクリート温度は35℃以下であることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	日平均気温とは、1時から24時までの毎正時24回の観測値の平均をいう。暑中コンクリートの適用に関する判断は請負者へのヒアリングにて確認を行う。			
				確認箇所												
				コメント												
		打設前	【寒中コンクリート】 日平均気温が4℃以下になることが予想されるときは、寒中コンクリートとしての施工を行っており、打ち込み時のコンクリートの温度を、構造物の断面最小寸法、気象条件等を考慮して、5～20℃の範囲に保っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		/	□	暑中コンクリートの場合、特にゴールドジョイントが生じやすいため注意する。
				確認箇所												
				コメント												
施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃を超える場合は2.0時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□				
		確認箇所														
		コメント														

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】基礎工—場所打ち杭工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考			
コンクリート打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃以下の場合には2.5時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	暑中コンクリートの場合、特にコールドジョイントが生じやすいため注意する。
				確認箇所									
				コメント									
杭頭処理	場所打ち杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入していることが確認できる。	施工時	トレミー管下端とコンクリート立上り高の関係をトレミー管の位置、コンクリート打込み数量より検討し、トレミー管をコンクリート内に打込み開始時を除き、2m以上いれていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】基礎工－深礎工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考			
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□
掘削工	支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。	施工時	場所打杭工の施工にあたり、設計図書に示した支持地盤に達したことを、掘削深さ、掘削土砂、地質柱状図及びサンプルなどにより確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
コンクリート打設	コンクリート打設前に打ち継ぎ目の処理を適切に行っていることが確認できる。	施工時	硬化したコンクリートの表面のレイタンス、緩んだ骨材粒、品質の悪いコンクリート、雑物などを取り除き吸水させていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間が、外気温が25℃を超える場合で1.5時間以内、25℃以下の場合で2時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	コンクリートの打込みを日平均気温が4℃を超え25℃以下の範囲に予想されるときに実施していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	日中平均気温が4度以下の時は寒中コンクリートとして、25度を超えるときは暑中コンクリートとして取り扱う。	
			確認箇所										
			コメント										

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】基礎工－深礎工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考				
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	
コンクリート打設	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	打設前	【暑中コンクリート】 日平均気温が25℃を超えることが予想されるときは、暑中コンクリートとしての施工を行っており、打ち込み時のコンクリート温度は35℃以下であることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	日平均気温とは、1時から24時までの毎正時24回の観測値の平均をいう。暑中コンクリートの適用に関する判断は請負者へのヒアリングにて確認を行う。	
				確認箇所										
				コメント										
		打設前	【寒中コンクリート】 日平均気温が4℃以下になることが予想されるときは、寒中コンクリートとしての施工を行っており、打込み時のコンクリートの温度を、構造物の断面最小寸法、気象条件等を考慮して、5～20℃の範囲に保っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
		施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃を超える場合は2.0時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	暑中コンクリートの場合、特にコールドジョイントが生じやすいため注意する。	
				確認箇所										
				コメント										
		施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃以下の場合2.5時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		暑中コンクリートの場合、特にコールドジョイントが生じやすいため注意する。
				確認箇所										
				コメント										

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】基礎工－深礎工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□		
裏込注入工	裏込材注入の圧力が施工記録により確認できる。	施工時	裏込注入材の配合は設計図書を満足していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	グラウトの注入方法については、施工計画書に記載し、施工にあたっては施工記録を整備保管していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	裏込材注入圧力は、低圧(0.1N/mm ² 程度)となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	土留め材と地山との間に生じた空隙部には、全長にわたって裏込注入を行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】地盤改良工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考				
改良体 造成工	使用材料が適切であることが確認できる。	施工時	使用材料が適切であることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
	改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	施工時	改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
	施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。	施工時	施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
	薬液 注入 工	着手前に、工法及び材料について確認ができる。	施工時	着手前に、下記の確認ができる。 (1)工法関係 ①注入圧 ②注入速度 ③注入順序 ④ステップ長 (2)材料関係 ①材料(購入、流通経路等を含む) ②ゲルタイム③配合	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
					確認箇所									
					コメント									

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日～ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】舗装工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考			
路盤工	下層路盤の敷き均し厚さが適切であることが確認できる	施工中	1層の仕上がり厚さで20cmを超えないように均一に敷均さなれていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
	上層路盤の敷き均し厚さが適切であることが確認できる	施工中	1層の仕上がり厚さで15cmを超えないように均一に敷均さなれていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
基層及び表層	加熱アスファルト混合物を運搬する車両が、適切であることが確認できる	施工中	加熱アスファルト混合物を運搬する場合、清浄で平滑な荷台を有するダンプトラックを使用し、ダンプトラックの荷台内面には、混合物の付着を防止する油、または溶液を薄く塗布していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									
	加熱アスファルト混合物を運搬状況が適切であることが確認できる	施工中	加熱アスファルト混合物の運搬時の温度低下を防ぐために運搬中はシート類で覆われていることが確認できる	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所									
				コメント									

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日～ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【共通編】舗装工

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考				
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/
基層及び 表層	施工時の天候・気温が適切であることが確認できる。	施工中	施工時の気温は5℃以上であることが確認できる。また、雨が降り出した場合、敷均し作業を中止し、すでに敷均した箇所の混合物を速やかに締固めて仕上げを完了させていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
	舗装面が適切な状態であることが確認できる。	施工前	施工にあたってプライムコート及びタックコートを施す面が乾燥していることを確認できるとともに、浮石、ごみ、その他の有害物がないことが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		
				確認箇所										
				コメント										
舗設の状況が適切であることが確認できる。	施工時	設計図書に示す場合を除き、加熱アスファルト混合物を敷均したときの混合物の温度は110℃以上、また、1層の仕上がりが厚さは7cm以下としていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
			確認箇所											
			コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)】

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/	□
桁製作工 (コンクリート)	施工条件や気象条件に適した 運搬時間、打設時の投入高さ及 び締固め方法が、定められた条 件を満足していることが確認で きる。	施工時	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間が、外気温 が25℃を超える場合で1.5時間以内、25℃以 下の場合で2時間以内となっていることが確認で きる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	コンクリートの打込みを日平均気温が4℃を超え2 5℃以下の範囲に予想されるときに実施してい ることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	コンクリートの打設作業に際しては、あらかじめ打 設計画書を作成し、適切な高さに設定してこれに 基づき打設作業を行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	シュート、ポンプ配管、バケツ、ホッパー等の吐 出口と打込み面までの高さは1.5m以下となってい ることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)】

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考							
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/	□		
桁製作工 (コンクリート)	施工条件や気象条件に適した 運搬時間、打設時の投入高さ及 び締固め方法が、定められた条 件を満足していることが確認で きる。	打設前	【暑中コンクリート】 日平均気温が25℃を超えることが予想されるときは、 暑中コンクリートとしての施工を行っており、打ち込み 時のコンクリート温度は35℃以下であることが確認で きる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所													
				コメント													
		打設前	【寒中コンクリート】 日平均気温が4℃以下になることが予想されるときは、 寒中コンクリートとしての施工を行っており、打込み時 のコンクリートの温度を、構造物の断面最小寸法、気 象条件等を考慮して、5~20℃の範囲に保っていること が確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所													
				コメント													
		施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃を越え る場合は2.0時間以内となっていることが確認で きる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所													
コメント																	
施工時	許容打ち重ね時間間隔が、外気温が25℃以下の 場合は2.5時間以内となっていることが確認で きる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□			
		確認箇所															
		コメント															

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)】

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/	□
桁製作工 (コンクリート)	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	施工時	コンクリートが鉄筋の周囲及び型枠のすみずみに行き渡るように打設し、パイプレータ間隔50cm以下、1箇所あたりの振動時間5~15秒程度で速やかにコンクリートを締め固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	コンクリートを2層以上に分けて打設する場合、パイプレーターを下層のコンクリート中に10cm程度挿入し、上層と下層が一体となるように入念に締め固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
桁製作工 (緊張管理)	PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	施工時	緊張管理計画で示された荷重計の示度とPC鋼材の拔出し量の測定値との関係が、許容範囲を越える場合には、原因を調査し適切な措置を講じていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	グラウトの施工は、ダクト内の残留水等がグラウトの品質に影響を及ぼさないことを確認し、グラウト注入時の圧力が強すぎないように管理していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)】

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/	□
桁製作工 (緊張管理)	PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	施工時	プレストレスの施工については、各桁ともできるだけ同一強度の時期に行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	緊張装置の使用については、PC鋼材の定着部及びコンクリートに有害な影響を与えるものを使用していないことが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	PCグラウトの品質が適切であることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	寒中におけるグラウトの施工については、グラウト温度は注入後少なくとも5日間、5℃以上に保ち、凍結することのないように行っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象)】

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/	□
桁製作工 (緊張管理)	PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	施工時	暑中におけるグラウトの施工については、グラウトの温度上昇、過早な硬化などがないようにしており、注入時のグラウトの温度は35℃を越えていないことが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		施工時	連続ケーブルの曲げ上げ頂部付近など、ダクト内に空隙が生じないように空気孔を設けていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□		/	□
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【トンネル工事(NATM)】

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/	□
コンクリート (吹付) (覆工) (インパート)	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	打設時	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間が、外気温が25℃を超える場合で1.5時間以内、25℃以下の場合で2時間以内となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		打設前	【暑中コンクリート】 日平均気温が25℃を超えることが予想されるときは、暑中コンクリートとしての施工を行っており、打ち込み時のコンクリート温度は35℃以下であることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
		打設前	【寒中コンクリート】 日平均気温が4℃以下になることが予想されるときは、寒中コンクリートとしての施工を行っており、打ち込み時のコンクリートの温度を、構造物の断面最小寸法、気象条件等を考慮して、5~20℃の範囲に保っていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											
		打設時	シュート、ポンプ配管、バケツ、ホッパー、セントルの開口部等の吐出口と打込み面までの高さは1.5m以下となっていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				確認箇所											
				コメント											

品質証明チェックシート(実施状況) (期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	印
------	-------	-------	---

【トンネル工事(NATM)】

施工フロー	チェックポイント	時期	チェック項目	チェック内容						備考					
				日付・チェック	/	□	/	□	/		□	/	□	/	□
コンクリート (吹付) (覆工) (インパート)	施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。	打設時	コンクリートが鉄筋の周囲及び型枠のすみずみに行き渡るように打設し、パイプレータ間隔50cm以下、1箇所あたりの振動時間5~15秒程度で速やかにコンクリートを締め固めていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
インパート工	インパートの埋め戻し方法は適切であることが確認できる。	施工時	インパート盛土の締固め度を施工管理基準に基づき管理していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
裏込注入工 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">実施する場合</div>	裏込注入の施工方法は適切であることが確認できる。	施工時	裏込注入工は覆工コンクリート打設後、早期に実施していることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□			
				確認箇所											
				コメント											
		(This section is merged into the '実施する場合' cell above)	(This section is merged into the '裏込注入の施工方法は適切であることが確認できる。' cell above)	施工時	注入材、注入時期、注入圧力、注入の終了時期は設計図書のとおりであり、監督員の承諾を得ていることが確認できる。	日付・チェック	/	□	/	□	/	□	/	□	
						確認箇所									
						コメント									

